

支援方針	①お子さまが安心して楽しく過ごせる安全な居場所を提供します。 ②一人ひとりに応じた支援を小グループ活動を通して行います。
------	---

五領域に基づく活動

五領域		目的等	具体的支援方法		
1	健康・生活 (a)健康状態の維持・改善 (b)生活のリズムや生活習慣の形成 (c)基本的な生活スキルの獲得	<input type="checkbox"/> 健康な生活習慣の促進や、健康な心と生活のスキルの獲得	①基本的な生活習慣を身に付ける	あいさつ・手洗い・検温・荷物整理・トイレの使い方・身だしなみ・食事	
		<input type="checkbox"/> 生活において自分でできるが増える基本的な生活スキルの獲得	②生活スキルの向上	買い物体験・調理・掃除・公共交通機関の利用・公道の歩き方・公共の場所へのお出かけのマナー・時間管理	
2	運動・感覚 (a)姿勢と運動・動作の向上 (b)姿勢と運動・動作の補助的手段の活用 (c)保有する感覚の総合的な活用 支援内容:運動能力や感覚統合の支援	●感覚調整や運動能力の向上を図り、日常生活や学習活動における支障を軽減し、自己肯定感や自己効力感を高める <input type="checkbox"/> 「微細運動」に関する支援 <input type="checkbox"/> 「粗大運動」に関する支援 <input type="checkbox"/> 感覚の過敏さや鈍麻などに合わせた環境調整	①微細運動	造形遊び	折り紙・アイロンビーズ・プラ板・お絵描き・工作
				構成遊び	レゴ・ラキュー・ドミノ・カプラ・パターンブロック
				ゲーム	スティッキー・インパクト・マンカラ・4目並べ・クラスク・シャッフルショット・スピードカップス
				伝承遊び	けん玉・独楽・お手玉
				手芸	フェルト・針と糸・毛糸・はさみ
			②粗大運動	剣道場等での運動遊び	ラジオ体操・サーキット・縄跳び・ボール遊び・コグトレ
公園遊び	ブランコ・滑り台・鉄棒・鬼ごっこ・サッカー・フリスビー・ドッジボール・モルック				
③環境調整	・イヤーマフの活用により、感覚過敏の傾向に配慮する ・適度な休憩をとったり、水分補給をしたりする ・刺激を少なくした学習環境を整える ・足踏み等の刺激を与え、着席できるようにする				
3	認知・行動 (a)認知の発達と行動の習得 (b)空間・時間・数等の概念形成の習得 (c)対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得	●発達レベルに応じた教科学習の支援、認知の偏りに対する予防(誤学習)と状況に応じた適切な行動への対応力を養う <input type="checkbox"/> 空間・時間・数等の概念形成の習得 <input type="checkbox"/> 適切な認知と適切な行動の習得	①時間や状況を見て行動する	・活動時に「今日の予定」を示し、今後の行動予定を理解させる ・時間を意識して行動できるように支援する	
			②適切な学習支援	・苦手なところ、得意なところを確認しながら、学習を支援する ・必要に応じて、デジジー、タブレットを利用する	
			③遊びの中での支援	ごっこ遊び	役割の理解、適切な道具の利用、お金の使い方
				造形遊び	折り紙・アイロンビーズ・プラ板・お絵描き・工作
				構成遊び	レゴ・ラキュー・ドミノ・カプラ・パターンブロック
ゲーム	ダブル、ナインティル、ハリガリ、将棋等あらゆるゲーム				

五領域		目的等	具体的支援方法	
4	言語・コミュニケーション (a)言語の形成と活用 (b)言語の受容及び表出 (c)コミュニケーションの基礎的能力の向上 (d)コミュニケーション手段の選択と活用	●適切なコミュニケーション能力の獲得や自己表現力の向上を図り、社会生活における関係性やコミュニケーション能力を高める □読み書き障害、ワーキングメモリーの低さ等から来る言語に関する苦手さの軽減をはかる □遊びの中で、スタッフや友だちとコミュニケーションをとり、自分の気持ちを上手に伝える方法を学ぶ	①適切な学習支援・生活支援	・苦手なところ、得意なところを確認しながら、学習を支援する ・必要に応じて、デジター、タブレットを利用する ・何かを指示する際は、絵や図を利用したり、文字に書くなど理解の補完をする
			②遊びの中での支援	ゲーム レシピ・インカの黄金・ボブジテン・ワードスナイパー・犯人は踊る・ワンナイト人狼・好きなどっち・協力ゲーム等あらゆるゲーム その他すべての遊び ・遊びを通じてスタッフ、友だちとコミュニケーションを取り、自分の気持ちを上手に伝える方法を学ぶ ・技能の必要な遊び(独楽、剣玉、モルック、カブラ等)の際、お互い励まし合ったり、応援したり、教え合ったり、協力したりする
5	人間関係・社会性 (a)他者との関わり(人間関係)の形成 (b)自己の理解と行動の調整 (c)仲間づくりと集団への参加 □他者との関わりの中での社会性の発達と集団活動や社会参加の支援	●集団活動でのルールに合わせた行動や社会参加の経験を通じて、他者との関係や社会性の向上を図り、社会生活における適応力を養う □遊びや様々な活動を通じて、人間関係や社会性を学ぶ	①遊びの中での支援	ごっこ遊び いろいろな役割を体験しながら、他者との関わりや社会生活について学ぶ
				ゲーム 犯人は踊る、ワンナイト人狼・街コロ・協力ゲーム・その他
				その他すべての遊び ・遊びを通じてスタッフ、友だちとコミュニケーションを取り、一緒に遊んで楽しいという体験を積む ・遊びの中で、協力したり、意見をぶつけ合ったりしながら、よりよい関係作りをする
			②季節の行事	・お正月、節分、ひな祭り、お花見、七夕、ハロウィン、クリスマス、もちつき等季節の行事を通じて、日本文化に親しむ ・地域での行事等にも参加する機会を作る
③施設見学等の体験活動	・図書館、児童館、動物園、るくる、消防署・防災センター・工場等の見学、外食体験などを行い、公共マナーを学ぶと共に地域社会との繋がりを持つ			

家族支援

- ・送迎時における説明や定期的な面談等により、ご家庭、事業所におけるお子さんの様子や課題について情報共有を図り、支援に活かします。
- ・療育に関する研修や保護者間の交流の場として3か月に一度程度、保護者会を開催します。 ・公認心理士、特別支援教育士等が保護者相談に応じています。

移行支援

- ・学校、ご家庭と事業所の連携を深め、一貫性のある支援を目指しています。保育所等訪問支援の報告を有効に支援に活かしています。

職員の質

- ・公認心理師、保育士、元小学校教員、アナログゲーム療育指導員などが個々の特性に応じた支援にあたります。

作成日 2024年4月1日

--

